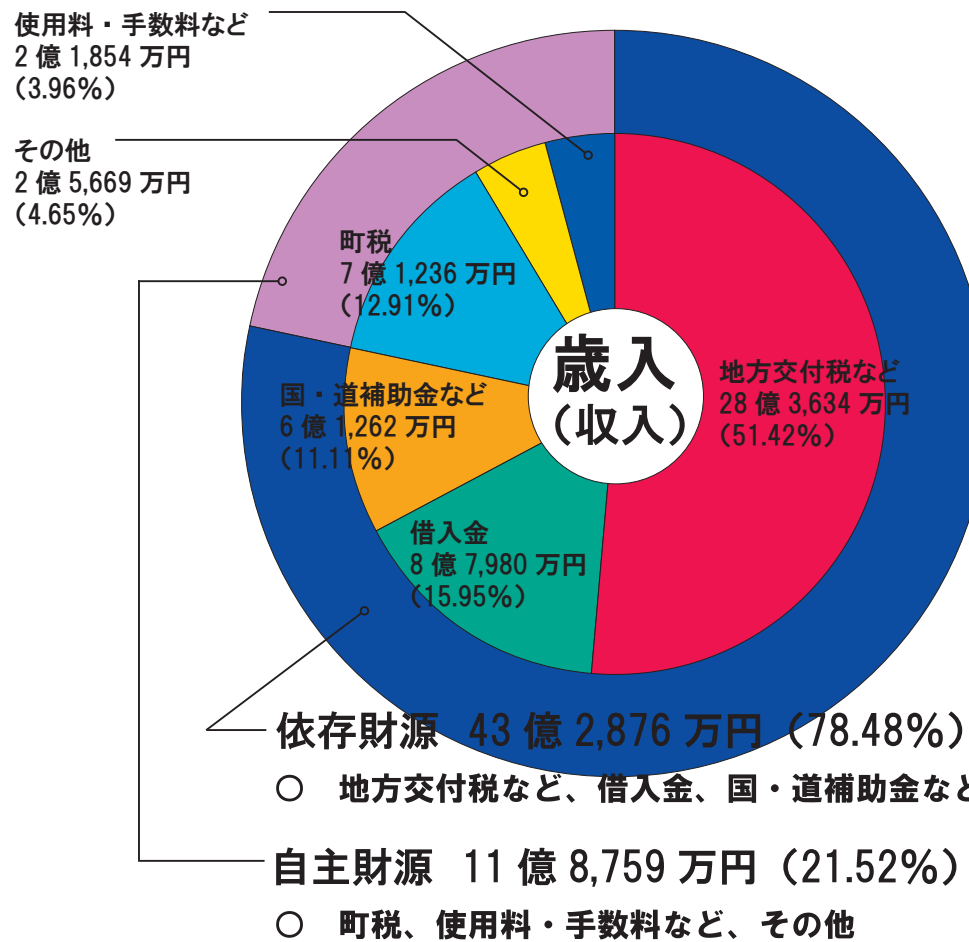


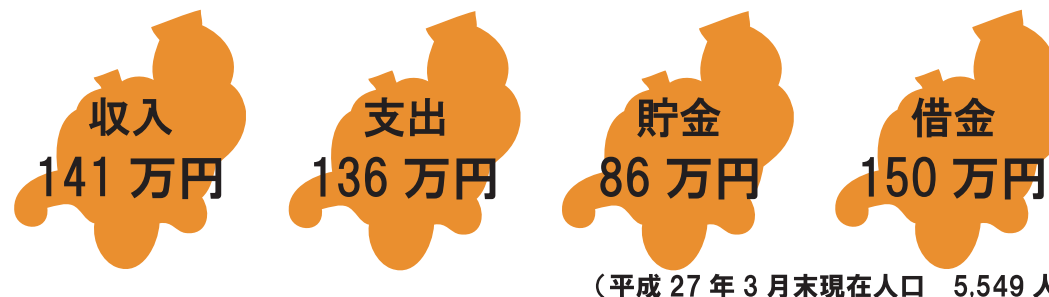
決算報告

町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかわ知っていただくために、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。今回は、9月議会で承認された平成26年度決算の概要についてお知らせします。

一般会計 歳入総額は55億1,635万円

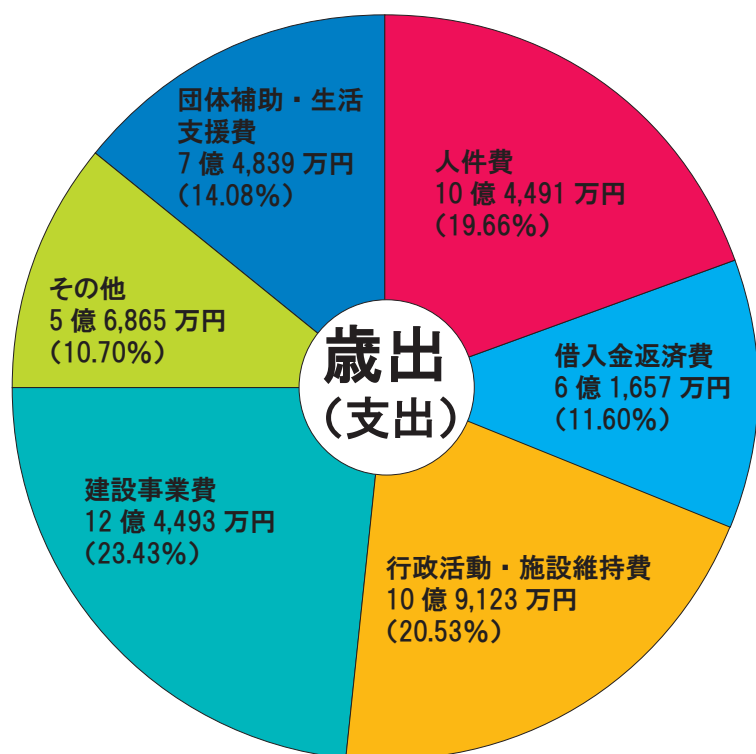


平成26年度決算を町民一人当たりにと



一般会計 歳出総額は53億1,468万円

- 【人件費】**
職員給与・議会議員報酬など
- 【借入金返済費】**
大きな事業を行なうために借り入れたお金の返済
- 【行政活動・施設維持費】**
一般行政活動を行う経費や施設などの整備に使った維持的経費
- 【建設事業費】**
道路、公共施設、産業基盤などの整備に使った投資的経費
- 【その他】**
一般会計から特別会計に繰り出したお金、基金の積立など
- 【団体補助・生活支援費】**
団体への負担金や補助金、高齢者・障がい者への生活支援費



特別会計決算			
会計	歳入 (収入)	歳出 (支出)	差引
簡易水道	2億 6,042万円	2億 4,564万円	1,478万円
国民健康保険	9億 1,919万円	8億 7,702万円	4,217万円
公共下水道	2億 3,601万円	2億 2,640万円	961万円
介護保険	5億 4,972万円	5億 3,588万円	1,384万円
介護サービス	2億 6,075万円	2億 5,227万円	848万円
後期高齢者医療	8,522万円	8,356万円	166万円

◆基金と起債
◆基金 (貯金) 47億7,599万円
◆起債 (借金) 83億3,071万円

一般会計決算の概要

我が国の経済情勢は東日本大震災と原発事故を契機とした深刻なエネルギーの制約、超高齢化社会の到来といった様々な困難に直面しています。このため、国の平成26年度予算の基本的な考え方は、社会保障をはじめとする義務的経費等を含め、聖域なく抜本的に予算を見直した上で、「新しい日本のための優先課題推進枠」で要望された施策をはじめとしてその内容を精査し、民間需要や民間のイノベーションの誘発効果が高いもの、緊急性の高いもの、規制改革と一体として講じるものを重視しつつ、真に必要な予算の重点化が図られました。更に、経済再生を進めながら財政再建との両立を図っていくことの重要性並びに増大する社会保障の持続性と安心の確保及び我が国の信認維持といった社会保障と税の一体改革の趣旨を踏まえ、消費税率が平成26年4月から引き上げられました。地方財政については、経済再生に合わせ、リーマンショック後の危機対応モードから平時モードへの切り替えを行う節目の年として位置づけられ、歳出特別枠や別枠加算の縮減など歳入歳出の両面から改革が始まっています。

全国的な景気動向は緩やかに回復しているとはいえ、電力供給の制約や円安などの影響により地方の景気回復がまだまだ見込めず、本町を取り巻く環境は依然として厳しい状況下での平成26年度予算編成においては、昨年同様第4期佐呂間町総合計画を基本として、将来を見据えた計画的な予算となるようコスト意識を持ち、限られた財源と人員の中で最大の事務事業効果を発揮するよう職員一丸となって各種施策

に取り組みました。また、国や道、その他関係機関等における補助・助成制度の積極的な活用によるバランスを重視するとともに、町の独自施策の積極的な展開についても予算に反映することを含めて行財政運営を進めました。

歳入総額の約48%を占める地方交付税は、総額で26億5,243万円(前年度比1億4,359万円減)で51%の減となりましたが、義務的経費のより一層の抑制はもとより、補助金や町債等による財源確保に努めながら、最重要課題である地域医療再編整備事業のため、クリニックさるま新築工事や院外調剤薬局新築工事、医師住宅の新築工事などを実施しました。また、土地改良や排水処理施設建設に対する佐呂間漁業協同組合への補助金など第一次産業基盤整備事業をはじめ、簡易水道拡張や町道改良舗装事業などのインフラ確保事業、佐呂間中学校内部改修工事や町営スキー場リフト整備工事などの教育関連施設整備に取り組みました。

また、消費税率の引上げ分の地方消費税収分として1,210万円が交付され、社会保障施策に要する経費に一般財源として全て充当しました。

この結果、当初予算で見込んでいた財源補てんの基金繰入金金は全て減額し、最終的な余剰金として財政調整基金へ6,600万円の積立を行い、前年度繰越明許費を含めた最終予算額を55億7,884万円(前年度比3億2,682万円増)としました。決算額については歳入決算額55億1,635万円、歳出決算額53億1,468万円となり、翌年度繰越財源2,875万円を差し引いた実質収支差引残額は1億7,292万円となりました。